

あおりの未来、技術でサポート

令和7年度

畜産研究所年報

令和8年8月

地方独立行政法人
青森県産業技術センター畜産研究所
(略称：青森産技畜産研)

目 次

I 試験研究の概要

1 繁殖技術部門	3
2 肉用牛部門	4
3 養鶏部門	5
4 乳用牛部門	5
5 飼料環境部門	7
6 和牛改良技術部	9

II 牧草・飼料用トウモロコシの生育状況

1 気象経過の概要	10
2 牧草の生育状況	10
3 飼料用トウモロコシの生育状況	11

III 家畜改良業務の概要

(本 所)

1 日本短角種産肉能力直接検定	12
2 種雄候補牛生産	13
3 アニマルモデルBLUP法による産肉形質の育種価評価	15
4 優良系統の造成及び能力改善	18
5 実用ひなの配布	18

(和牛改良技術部)

1 黒毛和種直接検定	19
------------	----

IV 研究成果の公表・研修並びに普及指導活動

1 令和8年度「普及に移す研究成果・参考となる研究成果」とした事項	20
2 学会誌・研究会誌・研究報告への掲載	20
3 試験研究成績発表会（県内対象）	22
4 マスメディアへの寄稿による情報発信	23
5 刊行物	23

V 生産業務等の実績

(本 所)

1 繁殖技術肉牛部	
(1) 供卵牛・受卵牛・試験牛・肥育牛の飼養頭数及び異動状況	24
(2) 貸付種雄牛（日本短角種）	25

2	中小家畜・シャモロック部	
(1)	養鶏関係	25
3	酪農飼料環境部	
(1)	乳用牛関係	28
(2)	粗飼料生産関係	29
(3)	土壌、飼料の分析調査業務関係	31
4	家畜衛生	
(1)	肉用牛及び乳用牛	31
(2)	肉用鶏及び卵用鶏	32
(	和牛改良技術部	)
1	肉用牛	33
2	家畜衛生	35
VI 総 務		
1	組織・機構	36
2	分掌事務と職員の配置	36
3	職員名簿	37
4	人事	38
5	予算執行状況	39
(付)	令和7年旬別気象表（青森県上北郡野辺地町）	40
(付)	令和7年気象図（青森県上北郡野辺地町）	41

I 試験研究の概要

1 繁殖技術部門

(1) 受精卵段階でのゲノム育種価解析による早期優良牛生産に関する試験・研究開発

(令和6～10年) 研究費交付金

和牛の産肉能力を出生直後に推定できる「ゲノム育種価」評価を、受精卵の段階で解析することが可能となれば、高能力牛のみを選抜して生産することができ、優良種雄牛・繁殖雌牛の早期造成に貢献できる。しかしながら、受精卵段階でのゲノム育種価解析技術は、解析に供する細胞の数が限られることから解析精度や受胎率の面で課題が残されており、技術的に改良が必要である。そこで本研究では、受精卵を用いたゲノム育種価解析技術を実用化させるため、受精卵のDNA採取方法や増殖方法について検討する。また、DNA採取した受精卵は通常の受精卵に比べ耐凍性の低下が懸念されることから、受精卵の凍結保存方法の改善技術を開発する。

ア 受精卵段階でのゲノム育種価解析

受精卵から採取した細胞のDNAを用いて全ゲノム増幅を行い、SNP型の判定ができるか検証を行った。細胞の採取方法として切断法と再構築法の2つを試みたところ、両者ともゲノム増幅後のDNA収量や解析精度（Call Rate）は十分な水準であった。細胞採取方法については、作業性を考慮すると切断法が望ましいと考えられた。また、受精卵段階と子牛段階でのDNA解析結果を比較し精度の検証を行うため、DNA採取した受精卵の移植にも取り組んだ。一方、採取した細胞を増殖させる試みについては、有効な方法を見出すことができず課題が残った。

イ DNA採取した受精卵の凍結保存方法の改善

細胞を切断採取した後の受精卵について、凍結前の回復培養が細胞の損傷を抑制するか検証を行った。切断直後に凍結した受精卵と比較して、切断した後回復培養してから凍結した受精卵は、死細胞率が減少することが確かめられ、損傷を抑えられたと考えられた。

(2) 省力的かつ効率的な新しい牛体外受精卵生産技術に関する試験・研究開発

(令和6～10年) 研究費交付金

飼料価格の高騰等により子牛価格は下落しているが、高能力が期待される受精卵移植産子は比較的高値で推移し、受精卵移植の利用が拡大している。また、牛の体外受精技術は、受精卵の生産効率に優れるが高度な技術を要することから、第3期では簡易に作製した混合ガスを利用し、牛体温による受精卵生産技術を開発することで技術の簡易化を図った。

そこで、受精卵生産方法の選択肢をさらに広げるため、受精卵を効率的に生産可能な体外受精技術を活用し、低コストかつ簡易に利用可能な小型恒温器を用いて、省力的かつ効率的な新しい受精卵生産技術を開発する。

ア 小型恒温器を用いた低コストな受精卵生産技術の開発

黒毛和種経産牛からOPUした未成熟卵子を用い、ガス自動制御の培養器の代わりにJTM規格に準拠した恒温器（培養に適した温度に補正設定済み）を全培養工程（体外成熟、体外受精、体外発生）で用いたところ、対照区（従来法である全培養工程で培養器を使用した区）での胚盤胞発生率と同等の結果が得られた。

しかしながら、変性細胞の割合が10%以下に分類される高品質な受精卵の割合については、恒温器で全培養工程を代用した場合、対照区に比べ低くなったことから今後、培養条件の改良が必要と考えられた。

2 肉用牛部門

（１）あおり和牛の脂肪の質向上と早期肥育技術に関する試験・研究開発

（令和6～10年） 研究費交付金

輸入飼料や資材の高騰などにより肥育経営の収益性が悪化している。このため、生産コスト低減技術として早期肥育技術が注目されている。早期肥育技術については、近年種雄牛の能力向上や各研究機関における試験研究成果により、通常出荷と遜色ない枝肉重量を確保することができる報告が増えている。しかしながら、早期肥育では一価不飽和脂肪酸（MUFA）やオレイン酸の割合が低いなど脂肪の質についてはまだ課題が残されている状況である。

そこで本研究では、オレイン酸を向上させる飼料を給与した場合や、ゲノム育種価などの違いによる脂肪の質の経時的変動を解明し、効率的に脂肪の質を向上させる技術を開発することで早期肥育における課題を解決する。

ア オレイン酸添加牛群と無添加牛群による比較試験

オレイン酸を給与した場合の脂肪の質の経時的変動を解明するため、一卵性双子の牛をそれぞれ試験区及び対照区として充当し、オレイン酸高含有飼料の給与による影響を調査した。対照区では慣行の飼養管理を行い、試験区ではこれに加えて、オレイン酸含有量として65g 相当／頭・日となるようにひまわりの種（オレイン酸高含有品種・現物で約200g）を添加した。試験牛の生体から脂肪を採取・分析した結果、給与後2か月間において脂肪中のオレイン酸及びMUFA 割合が高まる可能性が示唆された。

イ ゲノム育種価と脂肪の質の変動解析

遺伝的能力が脂肪の質に与える影響を明らかにするため、当所の慣行方法により飼養している肥育牛について、生体から脂肪を採取・分析してゲノム育種価及び SCD 遺伝子・FASN 遺伝子との関連を調査した。その結果、ゲノム育種価が平均以上の群と平均未満の群では有意な差は認められなかった。また SCD 遺伝子及び FASN 遺伝子型で AA 型、TT 型を有する群は、VA 型、TA 型を有する群と比較して脂肪中のオレイン酸割合が有意に高かった。

3 養 鶏 部 門

(1) 県産地鶏・特産鶏の遺伝的多様性の確保のに向けた育種・保存技術に関する試験・研究開発

(令和6～10年) 研究費交付金

鶏の安定生産を妨げる要因として家畜伝染病があり、中でも近年は高病原性鳥インフルエンザの発生が顕著となっている。そこで、青森シャモロックやあすなろ卵鶏といった本県の特産鶏の遺伝資源を確実にかつ効率的に保存する技術を開発し、家畜伝染病発生時のリスク分散を行う手法の確立を目指す。

一方で、県産地鶏「青森シャモロック」及び特産鶏「あすなろ卵鶏」の親である種鶏は系統造成されてから25年以上経過し、近交係数の上昇とそれに伴う能力低下（近交退化）が懸念されている。そこで、新たな系統の作出を通じ、近交係数を下げ、能力を維持する。

ア 新規後継鶏作出方法の検討及び近交係数の上昇を抑制する交配方法の検討

青森シャモロックの父方種鶏「横斑シャモ」の更新に向け、現行の横斑シャモに素材鶏である青森県在来シャモを導入して青森シャモロックの特徴である横斑羽装を遺伝的に固定した新系統を造成し、旧系統に比して繁殖能力及び産卵成績が改善された。

あすなろ卵鶏の母方種鶏「卵黄重選抜系統白色レグホーン」の更新に向け、同品種の新系統を導入して遅羽性を遺伝的に固定した新系統を造成し、新系統では産卵率、卵黄卵重比及び卵殻強度が改善された。

4 乳 用 牛 部 門

(1) 脱薬剤型の乳用牛疾病対策技術に関する試験・研究開発

(令和6～10年) 研究費交付金

乳用牛において、乳房炎や子宮内膜炎は、乳量の低下や受胎性の低下等による経済損失が大きく、重大な疾病となっている。これら疾病の治療には抗生剤が広く利用されているが、抗生剤による治療は、生乳の出荷制限が課せられる休薬期間が設定されているため、更に大きな経済損失となる。

また、抗生剤は、使用回数が多くなると薬剤耐性菌の発現により、治療が困難となる危険性が高まるだけでなく、人獣共通感染症対策として人の医療への脅威になる。

そこで、強い殺菌作用をもつオゾン水や次亜塩素酸水等の機能水を活用し、出荷制限による経済損失を抑え、耐性菌を発現させる危険性がない治療法を開発する。

ア 乳房炎対策技術の開発

超高密度オゾンナノバブル水(H-オゾン水)の乳房注入後、体細胞数が上昇する個体が多く、一定期間経過後も基準より下回らなかったため、乳房炎治療効果は認められなかった。

生菌数調査においても、H-オゾン水と生理食塩水の間に差がなく、乳汁に対する殺菌効果は認められなかった。

イ 子宮内膜炎対策技術の開発

子宮内膜炎と診断された牛へH-オゾンの子宮内注入をしたことにより、PMN率、生菌数がともに低下し、子宮内膜炎の改善効果が認められた。

(2) 自給飼料超多給型の乳用牛飼養管理技術に関する試験・研究開発

(令和6～令和10年) 研究費交付金

乳生産により多くのエネルギーを消費する乳用牛には、配合飼料の給与が欠かせない飼養管理が続いてきた。しかし、近年の社会情勢の変化により、配合飼料価格が高騰しており、酪農経営に大きな影響を与えている。さらに、青森県酪農・肉用牛近代化計画において、飼料自給率の向上を目指している。以上のことから、酪農経営の収益性を維持、確保するため、自給粗飼料を最大限に給与し、配合飼料及びその他購入飼料を極限まで削減した飼養管理技術が求められている。

これらを踏まえ、本課題では乳用牛のそれぞれの生育ステージにおいて自給トウモロコシを多給することにより、自給粗飼料を最大限に活用し、経済的に最も有利な飼料調製・給与技術を確立する。

ア 自給トウモロコシ超多給TMR調製技術の開発

自給トウモロコシ割合70%以上のTMRにおいて、栄養バランスの偏り等により乳量が減少し収益が低下した。令和6年度からの試験期間を通してみると自給トウモロコシ混合割合は60%までが限界と推察された。

イ 育成・妊娠後期牛に対する自給飼料超多給型飼料給与技術の開発

育成用配合飼料を自給トウモロコシに置き換えた結果、体重・体高ともに慣行区と同様に発育し、血液性状に関しては、一時的な血中尿素態窒素の上昇は見られたものの、正常範囲で推移していた。また、試験牛の分娩後の産乳成績や経済性に影響は見られなかったことから、育成用配合飼料を自給トウモロコシに置き換えることは可能であると推察された。

5 飼料環境部門

(1) 環境変化に対応した低投入型・増収型の飼料生産技術に関する試験・研究開発

(令和6～10年) 研究費交付金

ア 増収型飼料生産技術

令和7年において二毛作向け長大作物品種選定試験では、飼料用トウモロコシ試験が獣害を受け成績が得られなかった。ソルガムの試験では、早生品種シュガーグレイズ及び晩生品種ビッグシュガーソルゴの生育特性、収量性のデータを得た。

多雪地及び少雪地における晩播適性冬作物品種選定では、1年目の成績が得られた。多雪地（野辺地）におけるイタリアンライグラス試験では、播種時期の比較では、乾物収量は9月上旬播種＞10月下旬播種＞10月上旬播種の順で高かった。品種間の比較では乾物収量はクワトロTK-5はワセアオバ（標準品種）と比較して103%であった。KAIR-TS15（フウジンSR）は標準品種（ナガハヒカリ）比で93%であった。野辺地のライムギ試験では、播種時期が遅れるにつれ、乾物収量が低下する傾向が見られた。9月中旬播種区分の品種間の比較では、乾物収量は、ハルミドリ、クリーン、春一番、春香が概ね1200kg/10aであり、同等であった。

少雪地（七戸町）でのイタリアンライグラス、ライムギ試験は、消雪後に萌芽しなかったため、収量の調査ができなかった。

令和6年と7年の夏作と冬作の栽培成績から計算した合計収量と当所の過去のトウモロコシ晩生品種単作の収量値を比較した結果、前者が上回る結果となり、二毛作の優位性が示唆された。

イ 高栄養・高収量型トウモロコシ栽培・収穫技術

前年度、直線アシスト機能によるツインロー播種栽培により、高い収量が得られたが、不稔個体率が高い結果となった。この原因として密植が原因と考えられたことから、本年度は播種機を改良し栽植密度を下げることで、並びに中生と早生品種ではなく、密植栽培適性が高い極早生、早生品種を供試することにより不稔が改善されるかを検証した結果、不稔率は0～6%程度に改善され、不稔の原因を突き止める事ができた。また、播種機の改良によりツインロー播種の播種密度を操作できることが明らかになった。

ウ 低投入型飼料生産技術

調査ほ場にオーチャードグラス及びペレニアルライグラスを追播し、土壌改良資材を表層散布した。発芽の良否及び定着時草勢の評点はペレニアルライグラスよりオーチャードグラスがやや低かった。

(2) 越夏性に優れるライグラス新品種を用いた省力的な草地の高位安定生産技術の開発 (令和4年度～8年度) 受託研究費 (イノベーション創出強化研究推進事業委託費)

ア 東北北部多雪地での新規ハイブリッドライグラス系統の地域適応性評価

ハイブリッドライグラス「東北11号HR」及び「東北12号HR」の利用2年目の収量性及び生育特性は次のような結果が得られた。1番草収量では、「ハイフローラ」比で「東北11号HR」は51%、「東北12号HR」では74%であった。2番草収量では、「ハイフローラ」比で「東北11号HR」は92%、「東北12号HR」では89%であった。3番草収量では、「ハイフローラ」比で「東北11号HR」は102%、「東北12号HR」では116%であった。

1番草収量では、「ハイフローラ」比でイタリアンライグラス型フェストロリウム「那系37号」が48%、「東北11号HR」は65%、「東北12号HR」では91%であった。2番草収量では、「ハイフローラ」比で「那系37号」が69%、「東北11号HR」は73%、「東北12号HR」では94%であった。3番草収量では、「ハイフローラ」比で「那系37号」が87%、「東北11号HR」は110%、「東北12号HR」では110%であった。

イ 東北北部多雪地での採草利用の「草地メンテナンス」技術の開発

除草剤散布と追播処理両方を行った区では、利用1年目の1、2番草の牧草収量が追播無区よりも高かったが、追播有除草剤無区との差は見られなかった。広葉雑草の収量は、1番草では除草剤散布と追播処理両方を行った区において、2番草では追播有除草剤無区においても追播無区より低かった。3番草においては、追播無区以外の処理区においても広葉雑草が増加したことから、牧草および雑草収量に処理区分による差はなかった。また、除草剤の違いや量は利用年の収量性に影響しなかった。これらの結果から、前植生に雑草が多い場合、追播効果を確実にするためには、除草剤・追播処理の組み合わせにより、年間の牧草収量と割合を増加させ、雑草収量を減少させることが明らかとなった。

利用2年目では、植生に大きな処理区間差はなく、選択性除草剤散布と追播による効果はほぼ消失していた。

ウ 東北北部多雪地での採草地の「草地メンテナンス」技術実証栽培

前年度、生産者圃場において、選択性除草剤アシュラム剤の散布及びハイブリッドライグラス「東北11号HR」の追播を行い、本年度、追播翌年の調査を行った。1番草から3番草まで追播区の植生が、ハイブリッドライグラス(HR)が大半を占める結果となったことから、選択性除草剤散布及び「東北11号HR」追播処理により利用1年目既存草地の植生を改善し、牧草収量を高めるという結果が得られた。

(3) 飼料作物の優良品種選定試験

ア 飼料用トウモロコシ（昭和53年～）

研究費交付金（自給飼料生産対策推進費）

受託研究費（系統適応性・特性検定試験委託費）

現在流通しているサイレージ用トウモロコシの品種について、極早生5品種、早生4品種及び中晩生2品種の計11品種を供試し、生育特性及び収量性について調査した。生育特性、収量性等を検討した結果、「パイオニア110日（P1204）」及び「サイレージコーンNS125スーパー」が標準品種と比較して優れることから本県に適した有望な品種であることが認められ、県優良品種選定協議会に諮問した結果、奨励品種に指定された。

イ イタリアンライグラス（令和6～9年）

研究費交付金（自給飼料生産対策推進費）

受託研究費（系統適応性・特性検定試験委託費）

令和6年秋に播種し圃場を造成した。令和7年（1年目）の栽培成績は次のとおりであった。クワトロTK-5は標準品種（ワセアオバ）と比較して年間乾物収量で103%であり、KAIR-TS15（フウジンSR）は標準品種（ナガハヒカリ）と比較して年間乾物収量で93%であった。

6 和牛改良技術部

(1) ゲノム育種価解析による県産和牛の遺伝的改良に関する試験・研究開発

（令和6～10年） 研究費交付金

現在、黒毛和種において利用が進められている「ゲノム育種価」解析技術について、新たな手法を用いて解析し、その精度を検証する。

また、「脂肪の質」や「脂肪交雑の形状」等、枝肉格付け形質に代わる、新たな形質を対象としたゲノム育種価解析手法の開発を行う。

令和7年度は、ssGBLUP法で約44,000頭のリファレンスを用いてゲノム育種価解析を行い、BLUP育種価との相関を調べたところ、枝肉6形質全てで従来ゲノム育種価（GBLUP法）よりも高い相関係数（ssGBLUP： $R=0.80\sim0.94$ ，GBLUP= $0.66\sim0.85$ ）が得られた。

Ⅱ 牧草・飼料用トウモロコシの生育状況

1 気象経過の概要

(1) 気温

消雪は平年より8日遅い4月8日であった。生育期間中、平均気温は大部分の期間で平年より高温で推移した。

(2) 降水量

生育期間中の合計降水量は平年比80%であった。特に5月中旬、6月上中旬、7月下旬が少雨であった。

(3) 日照時間

生育期間中の合計日照時間は、6月から9月までの間、平年より多照であり、生育期間全体では平年比125%であった。

2 牧草の生育状況

牧草について、毎年同一の品種及び耕種法によって圃場を造成し、利用1～4年目の圃場において定期的に生育状況を調査して、その年の作況を把握するとともに草地管理上の資料を得る。

1番草：消雪は平年よりも8日遅い4月8日であった。生育期間中、平均気温は平年値よりも高く、降水量は平年比130%と多雨であった。温暖な気温であったため、乾物収量は平年比106%と多収だった。

2番草：高温、少雨、多照で推移し、葉枯性及び葉腐性病害が発生した。

3番草：高温、少雨、多照で推移した。

年間合計収量：年間合計乾物収量は前年比94%となった。

	刈取時の草丈(cm)					乾物収量(kg/10a)				
	本年	前年	平年	前年比	平年比	本年	前年	平年	前年比	平年比
1番草 (5/25)	103	98	88	105%	117%	434	394	410	110%	106%
2番草 (7/25)	78	83	—	94%	—	274	307	—	89%	—
3番草 (9/20)	65	71	—	92%	—	152	216	—	70%	—
年間合計	246	252	—	97%	—	860	917	—	94%	—

※牧草の生育状況調査は、調査番草が1～4番草(令和5年度まで)から1～3番草(令和6年度～)へ変更となっており、1番草以外は調査時期が大きく異なり過去との比較が困難であることから、2・3番草については平年値を記載しない。

3 飼料用トウモロコシの生育状況

飼料用トウモロコシについて、毎年同一の品種及び耕種法によって圃場を造成し、定期的に生育状況を調査して、その年の作況を把握するとともにトウモロコシ栽培管理上の資料を得る。

生育期間中（5/9-9/17）の気象条件は、平年よりも高温で推移し、日照時間は平年より28%高く降水量は26%低かった。生育期間をとおして、トウモロコシの生育に適した高温の気象条件であったため、平年よりも早く生育ステージ、雌穂の登熟が進んだ。早生品種の茎葉乾物収量は92%、雌穂乾物収量は123%であり、合計乾物収量は108%であり、平年より多収であった。中生品種も茎葉乾物収量、雌穂乾物収量は同様の傾向であったが合計乾物収量は平年並みとなった。早生・中生品種とも倒伏、折損はあまりみられず、令和7年度は平年並以上の収量となった。

品種(早晩性)		LG30500(早生)					P2088(中生)				
年次		本年	前年	平年	前年 比・差	平年 比・差	本年	前年	平年	前年 比・差	平年 比・差
播種期(月日)		5/9	5/10	5/10	1日早	1日早	5/9	5/10	5/10	1日早	1日早
発芽期(月日)		5/17	5/17	5/20	同日	3日早	5/17	5/17	5/20	同日	3日早
絹糸抽出期(月日)		7/22	7/27	8/1	5日早	10日早	7/23	7/30	8/2	7日早	10日早
刈取期(月日)		9/4	9/2	9/12	2日遅	8日早	9/17	9/11	9/23	6日遅	6日早
稈 長(cm)		329	285	235	115%	125%	318	276	274	115%	116%
着雌穂高(cm)		117	112	97	105%	116%	131	109	114	120%	115%
稈 径(cm)		1.57	1.53	1.65	100%	91%	1.65	1.69	1.63	97%	101%
倒伏・折損割合(%)		1.0	0.6	11.9	—	—	5.6	0.7	7.3	—	—
不稔割合(%)		3.9	4.4	1.4	—	—	1.1	4.1	1.6	—	—
乾物収量 (kg/10a)	茎葉	718	726	779	99%	92%	726	777	839	93%	87%
	雌穂	1,098	809	896	136%	123%	1,129	893	1,039	126%	109%
	計	1,816	1,535	1,676	118%	108%	1,855	1,670	1,878	111%	99%

Ⅲ 家畜改良業務の概要

(本 所)

1 日本短角種産肉能力直接検定

あおり短角牛改良促進対策事業に係わる基礎雌牛等から生産された雄子牛1頭について140日間（令和7年11月5日～令和8年3月25日）の検定を行った。

飼養条件はパドック併設の追い込み房で、濃厚飼料（直接検定用指定配合）は、メタボリックボディサイズ（体重の0.75乗）当たり0.063kgを、また粗飼料は牧乾草を自由摂取とし産肉能力について検定した。

	名 号	生 年 月 日	血 統		産 地	検 定 成 績								
			父	母 の 父		1 日平均 増 体 量	皮 下 脂 肪	拔擢指数		365 日齡 補正体重	1 kg増 体 当 T D N 摂取量	粗飼料摂取率	体型 資 質	選抜・淘汰
								(kg)	(mm)					
1	道晴	R7. 1. 19	道村 289	石深 2475	野辺地町	1. 42	72	22. 60	1	453. 0	4. 56	32. 3	A	選 抜
2	福千代	R7. 3. 6	福撫 1007	道笠 76-72	野辺地町	1. 46	59	26. 77	2	455. 7	3. 86	31. 9	B+	保 留
3	殿国	R7. 4. 1	国灰 2252	風灰 153	野辺地町	1. 25	70	19. 41	3	467. 5	4. 52	33. 6	B	淘 汰

注1) 皮下脂肪の測定時期、機種、方法：450±15kg時測定、スーパーアイミート使用、左右 4か所(計8か所)皮膚を含む

2) 選抜指数式：21.749×DG－0.254×皮下脂肪厚＋10

2 種雄候補牛生産

県内の和牛繁殖農家から購入及び所内生産した供卵牛から受精卵を作製し、所内で飼養している雌牛延べ18頭及び県内の農家で飼養している雌牛延べ21頭、計39頭に移植した結果、14頭の受胎を確認した。

なお、当該年度に生まれた子牛は24頭（雄20頭、雌4頭）で、同年度に雄5頭が直接検定牛として選定され、和牛改良技術部へ管理換えされた。

（１） 供卵牛名簿

名 号	生年月日	購買地	血統			備考
			父	母の父	母の祖父	
すずいし 45	H30. 8. 7	所内生産	勝忠平	第 5 隼福	東平茂	R2 供用開始
ふくひさぎくら	H28. 3. 11	八戸市	美国桜	百合茂	安福久	R3 購入
ゆりらいむ	H30. 8. 2	所内生産	百合白清 2	安福久	平茂勝	R4 供用開始
さなえふく	R2. 7. 16	東北町	福之姫	栄 11	美津福	R4 購入
あさゆき	R3. 12. 20	所内生産	百合白清 2	白清 85 の 3	平茂勝	R6 供用開始
つばき	R4. 5. 16	所内生産	百合白清 2	安福久	勝乃勝	R6 供用開始
ゆうひさ	R4. 7. 14	所内生産	優福栄	安福久	勝乃勝	R6 供用開始

（２） 直接検定牛

（和牛改良技術部に管理換え）

名号	生年月日	購買地	血統			備考
			父	母の父	母の祖父	
忠有梨	R6. 10. 11	所内生産	忠光安	百合白清 2	安福久	
福福桜	R6. 11. 13	六ヶ所村	寿優福	美国桜	百合茂	
桜輝	R6. 12. 15	所内生産	美津照重	美国桜	百合茂	
鶴影 2	R7. 1. 31	三戸町	福勝鶴	優福栄	勝忠平	
桜優	R7. 8. 28	三戸町	寿優福	美国桜	百合茂	

(3) 採卵成績

ア 体内受精卵

供卵牛6頭から、子宮灌流により計86個の卵を回収し、そのうち正常卵は63個であった。

イ 体外受精卵

供卵牛5頭から、経膈採卵・体外受精技術を用い計34個の体外受精卵を生産した。

(4) 移植成績

年度	移植頭数			受胎頭数			分娩頭数※			備考
	所内移植	農家移植	計	所内移植	農家移植	計	雄	雌	計	
22	67	31	98	48	8	56	38	25	63	死産3・流産4
23	61	48	109	41	10	51	28	16	44	死産1・流産2
24	35	88	123	7	24	31	19	20	39	死産2・流産2
25	74	112	186	9	33	42	19	12	31	死産2・流産1
26	67	91	158	10	28	38	25	19	44	死産2・流産1
27	39	76	115	13	25	38	17	15	32	死産2・流産4
28	35	35	70	10	11	21	10	14	24	死産3・流産2
29	28	19	47	14	11	25	11	11	22	死産3・流産3
30	11	77	88	8	22	30	24	15	39	流産2
31 (R1)	12	56	68	3	19	22	7	9	16	死産1
R2	68	49	117	16	15	31	19	3	22	死産1, 流産1
R3	60	48	108	14	17	31	19	9	28	死産2, 流産2
R4	69	56	125	16	24	40	13	14	27	死産3, 流産8
R5	29	67	96	9	25	34	20	14	34	死産2, 流産3
R6	23	38	61	14	14	28	15	9	24	死産5, 流産4
R7	18	21	39	7	7	14	20	4	24	死産3, 流産2

※分娩頭数は当該年度の3月31日までに分娩した頭数

3 アニマルモデルBLUP法による産肉形質の育種価評価

全国和牛登録協会管理の育種価評価システムを活用し、肥育牛の枝肉情報とその血縁関係から種雄牛及び繁殖雌牛の育種価評価を行った。

下記の評価結果（通算61回目）は令和7年11月までに県内収集及び全国枝肉データベースにより入手した肥育牛127,402頭の枝肉情報とその血縁関係から分析されたものである。

（１）取り上げた要因と対象形質

ア 分析に用いた個体

枝肉情報を持つ肥育牛127,402頭及びこの肥育牛から基準年次（昭和50年）まで直系祖先を遡って出現する種雄牛2,803頭と繁殖雌牛133,554頭。

イ 環境要因

（ア） 性：2水準（去勢、雌）

（イ）出荷年次：33水準（平成1～5年、6年、7年、8年、9年、10年、11年、12年、13年、14年、15年、16年、17年、18年、19年、20年、21年、22年、23年、24年、25年、26年、27年、28年、29年、30年、31・令和元年、令和2年、令和3年、令和4年、令和5年、令和6年、令和7年度）

（ウ）出荷先：4水準

青森県内：十和田食肉センター、スターゼンミートプロセッサー（株）三戸ビーフセンター、日本フードパッカー（株）青森工場

宮城県内：仙台市中央卸売市場食肉市場、（株）宮城県食肉流通公社

東京等：（株）群馬県食肉卸売市場、高崎食肉センター、さいたま市食肉中央卸売市場、川口食肉地方卸売市場、（株）アグリス・ワン、（株）千葉県食肉公社、東京都中央卸売市場食肉市場、横浜市中心卸売市場食肉市場ほか

その他：（株）岩手県畜産流通センター、米沢市食肉センター、（株）山形県食肉公社、石川県金沢食肉公社、山梨食肉地方卸売市場、JA飛騨ミート（株）、大阪市中央卸売市場南港市場、奈良県食肉流通センターほか

（エ）肥育地：565水準（5頭以上出荷の肥育農家と農協単位のグループ）

（オ）出荷時月齢：2次回帰

（カ）近交係数：1次回帰

ウ 分析対象形質

6形質：枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、皮下脂肪の厚さ、歩留基準値、脂肪交雑

(2) 枝肉情報を持つ肥育牛 127,402 頭の対象形質の算術平均値と標準偏差

形 質	枝肉重量 (kg)	ロース芯 面 積 (cm ²)	バラの 厚 さ (cm)	皮下脂肪 の 厚 さ (cm)	歩 留 基準値 (%)	脂肪交雑 (基準値)	と殺時 月 齢 (か月)
平 均	476.79	61.41	7.98	2.35	74.65	2.08	29.73
標準偏差	69.99	12.49	1.00	0.76	1.77	1.05	2.25

(3) 遺伝的パラメーターの推定

形 質	枝肉重量	ロース芯 面 積	バラの 厚 さ	皮下脂肪 の 厚 さ	歩 留 基準値	脂肪交雑 (基準値)
遺伝率	0.431	0.485	0.377	0.517	0.559	0.549

(4) 種雄牛及び繁殖雌牛育種価の基本統計量

種雄牛2,803頭と繁殖雌牛133,554頭の計136,357頭の育種価が評価された。

なお、繁殖雌牛133,554頭のうち、繁殖供用中のものは12,160頭、更にこのうち青森県内で供用中のものは6,828頭であった。

	種雄牛2,803頭				繁殖雌牛（県内供用中）6,828頭			
	平 均	標準偏差	最 大	最 小	平 均	標準偏差	最 大	最 小
枝 肉 重 量	18.215	39.067	159.781	-99.936	53.577	25.750	149.577	-74.184
ロース芯面積	7.160	6.836	38.267	-8.951	16.932	6.104	37.179	-3.632
バラの厚さ	0.482	0.550	2.537	-1.185	0.980	0.365	2.398	-0.246
皮下脂肪厚	-0.276	0.358	1.235	-1.544	-0.470	0.357	0.962	-1.728
歩留基準値	1.300	1.079	5.979	-1.704	2.650	1.033	6.731	-1.166
脂肪交雑(基準値)	1.141	0.937	4.447	-0.841	2.355	0.556	4.219	0.506

注) 供用中の繁殖雌牛とは、令和4年10月以降に分娩報告がされているものである（廃用含む）。

(5) 種雄牛の育種価（脂肪交雑）上位 50 頭の成績（第 61 回育種価評価結果）

次ページに表示。

種雄牛の育種価（脂肪交雑）の成績（第61回育種価評価結果：令和7年11月）※脂肪交雑育種価正確度0.9以上の上位50頭を抽出

基本・本原登録		名号	生年	血統			管理場所	管理者	枝肉重量			ロス芯面積			バラの厚さ			皮下脂肪厚			歩留まり			脂肪交雑			後代数	
区分	番号	元号	年	父	母	母の父			順位	育種価	正確度	順位	育種価	正確度	順位	育種価	正確度	順位	育種価	正確度	順位	育種価	正確度	順位	育種価	正確度		
原	5689	福之姫	平	24	芳之国	ふくひめ3	勝忠平	岩手県	盛岡種雄牛センター	22	117.294	0.995	10	30.391	0.995	10	2.007	0.994	2258	0.015	0.995	49	3.851	0.995	5	4.083	0.995	3088
原	5837	茂福久	平	24	茂洋	ひさこ	安福久	宮城県	宮城県畜産試験場	781	40.05	0.946	4	33.768	0.944	870	0.732	0.935	198	-0.812	0.948	4	5.225	0.95	11	3.982	0.951	45
黒	15080	知恵久	平	26	菊知恵	かみふくひさ	安福久	岡山県	岡山種雄牛センター	2218	-12.468	0.989	46	25.213	0.989	1822	0.202	0.987	31	-1.177	0.99	14	4.672	0.99	12	3.815	0.99	370
原	6167	弄優福	平	28	優福米	なな	第1花国	青森県	地独青森畜研和牛技術	1074	26.922	0.972	8	31.919	0.971	195	1.342	0.966	266	-0.744	0.973	2	5.451	0.974	16	3.735	0.974	108
原	6036	神照栄	平	27	秀菊安	ふじこ	忠富士	宮崎県	宮崎県家畜改良事業団	1953	-1.354	0.892	202	18.778	0.889	483	1.029	0.874	588	-0.547	0.896	65	3.702	0.899	19	3.661	0.9	18
原	5979	梅華福	平	26	華春福	にわめふくの2	忠茂勝	鹿児島県	県肉用牛改良研究所	727	42.626	0.961	153	20.3	0.96	17	1.939	0.953	1234	-0.322	0.963	55	3.784	0.964	20	3.643	0.964	70
黒	15056	美津金幸	平	25	美津照重	ももか	平茂勝	岩手県	盛岡種雄牛センター	552	51.234	0.988	211	18.586	0.987	412	1.087	0.985	32	-1.169	0.988	74	3.592	0.988	21	3.588	0.989	332
原	5996	百合未来	平	26	百合茂	みらい7	安福久	鹿児島県	衛羽子田人工授精所	191	78.44	0.982	56	23.834	0.981	239	1.281	0.978	1000	-0.397	0.982	102	3.402	0.983	22	3.579	0.983	175
原	5815	夏百合	平	24	百合茂	なつはななくに	第1花国	鹿児島県	徳重 真生	1180	22.996	0.98	69	23.408	0.979	740	0.837	0.975	213	-0.797	0.98	38	4.093	0.981	25	3.538	0.981	168
原	5360	白鵬85の3	平	22	勝忠平	みどり	白清85の3	鳥取県	鳥取県畜産試験場	30	115.733	0.974	11	30.235	0.973	1	2.537	0.969	2757	0.483	0.975	51	3.837	0.975	27	3.495	0.976	27
黒	15391	二刀流	平	28	美津照重	しわす7410	安福久	宮崎県	宮崎県家畜改良事業団	1467	14.17	0.948	275	17.035	0.946	2011	0.103	0.938	678	-0.515	0.95	329	2.603	0.951	28	3.469	0.952	54
原	5630	勝乃幸	平	22	勝乃勝	ゆきこ	金幸	長崎県	長崎県肉用牛改良C	683	44.447	0.987	101	21.683	0.986	60	1.716	0.984	214	-0.796	0.987	35	4.174	0.988	34	3.367	0.988	280
原	4416	安福久	平	13	安福165の9	もとじろう	紋次郎	鹿児島県	徳重 真生	1610	9.455	0.995	18	28.974	0.995	1585	0.335	0.995	19	-1.265	0.996	8	5.03	0.996	35	3.362	0.996	1703
原	6257	白鵬紅葉	平	30	白鵬85の3	ももこ	第1花国	北海道	オールジャパン(株)	143	85.942	0.925	83	22.735	0.923	3	2.248	0.911	1133	-0.349	0.928	58	3.764	0.93	38	3.35	0.931	30
黒	15280	金幸隆	平	27	隆之国	さちこ	金幸作	岩手県	盛岡種雄牛センター	748	41.356	0.909	563	12.41	0.906	304	1.194	0.892	1463	-0.256	0.912	521	2.216	0.914	43	3.295	0.916	25
原	6320	早勝晴	平	30	勝早桜5	あけぼの	平茂晴	青森県	地独青森畜研和牛技術	50	106.421	0.908	24	27.849	0.905	25	1.884	0.891	103	-0.953	0.911	23	4.461	0.914	48	3.263	0.915	23
原	5488	久茂福	平	23	安福久	ゆりふく	百合茂	島根県	島根畜産技術センター	1039	28.216	0.985	38	26.019	0.984	997	0.66	0.982	45	-1.121	0.985	22	4.532	0.986	49	3.26	0.986	233
原	5502	百合福久	平	22	百合茂	ふくやすふく	安福久	鳥取県	鳥取県畜産試験場	347	64.25	0.986	42	25.781	0.986	558	0.969	0.983	21	-1.254	0.987	25	4.379	0.987	51	3.25	0.987	246
黒	15380	百合美	平	28	芳之国	ゆりの	百合茂	岩手県	盛岡種雄牛センター	241	73.721	0.96	40	25.941	0.958	38	1.827	0.951	1646	-0.188	0.961	44	3.925	0.962	54	3.195	0.963	69
黒	15500	奥晴花	平	29	茂晴花	みその	平茂晴	岩手県	盛岡種雄牛センター	64	102.701	0.902	15	29.498	0.9	324	1.167	0.887	12	-1.343	0.905	15	4.638	0.908	55	3.188	0.909	17
原	5631	百合幸	平	23	百合茂	ひかる2	金幸	長崎県	長崎県肉用牛改良C	33	113.91	0.908	23	28.368	0.906	149	1.437	0.892	475	-0.596	0.912	45	3.898	0.914	59	3.15	0.915	21
原	5747	愛之国	平	24	芳之国	あいこ	平茂勝	岩手県	盛岡種雄牛センター	235	74.071	0.993	262	17.291	0.993	106	1.567	0.992	2600	0.226	0.993	510	2.227	0.993	60	3.13	0.993	855
原	5564	華忠良	平	23	華春福	しげかつ	忠茂勝	鹿児島県	県肉用牛改良研究所	335	65.144	0.955	231	17.87	0.953	226	1.304	0.945	1639	-0.19	0.956	328	2.604	0.958	62	3.111	0.958	51
原	5650	花靖国	平	23	第1花国	やすひら	安福165の9	青森県	小比類巻 正幸	158	83.481	0.988	144	20.483	0.988	35	1.844	0.986	2166	-0.014	0.988	212	2.924	0.989	64	3.101	0.989	375
黒	15271	美国白清	平	26	美国桜	きよひらしげ	白清85の3	鳥取県	鳥取県畜産試験場	2544	-33.524	0.969	530	12.763	0.968	1042	0.632	0.963	312	-0.705	0.971	143	3.168	0.972	69	3.062	0.972	100
原	6059	紀多福	平	26	幸紀雄	まちこ25	第1花国	鹿児島県	徳重 真生	77	97.774	0.992	60	23.662	0.992	167	1.401	0.991	1023	-0.389	0.992	138	3.176	0.993	70	3.052	0.993	683
黒	13747	秀菊安	平	15	安平	きの233	陸奥	宮崎県	宮崎県家畜改良事業団	1590	10.219	0.917	189	19.094	0.915	543	0.984	0.903	290	-0.721	0.92	60	3.748	0.922	71	3.051	0.923	12
黒	15010	百合芳	平	25	百合茂	えりこ	福之国	三重県	AGジャパン(株)	89	95.699	0.984	135	20.772	0.983	5	2.123	0.908	836	-0.451	0.984	109	3.376	0.985	72	3.044	0.985	235
黒	13968	美津照重	平	16	美津照	いつみ	美津福	群馬県	前橋種雄牛センター	1438	15.03	0.996	324	15.629	0.996	1314	0.462	0.996	1143	-0.345	0.996	361	2.514	0.996	76	3.018	0.996	4284
黒	14289	勝早桜5	平	18	勝忠平	なつ	安平	北海道	ジェネティクス北海道	45	108.825	0.995	37	26.054	0.995	18	1.925	0.994	1463	-0.256	0.995	78	3.574	0.995	78	3.015	0.995	2591
原	5297	幸紀雄	平	20	百合茂	はつかね	金幸	鹿児島県	徳重 真生	438	58.669	0.995	164	20.036	0.995	201	1.334	0.994	1401	-0.273	0.995	174	3.055	0.995	79	2.999	0.995	1967
原	5406	秀幸福	平	21	金幸福	ゆりこ	百合茂	鹿児島県	県肉用牛改良研究所	633	46.892	0.982	141	20.555	0.981	453	1.053	0.978	743	-0.488	0.982	123	3.283	0.983	83	2.978	0.983	165
原	5400	耕富士	平	22	忠富士	あいか	福之国	宮崎県	宮崎県家畜改良事業団	621	47.682	0.968	508	12.955	0.967	51	1.74	0.962	2537	0.17	0.969	552	2.161	0.97	84	2.976	0.971	40
原	6348	吉重75	平	30	白鵬85の3	なつえ75	安福久	鹿児島県	徳重 真生	820	38.183	0.957	310	16.003	0.956	200	1.336	0.949	1694	-0.171	0.959	310	2.66	0.96	85	2.975	0.961	59
原	5361	百合白清2	平	22	百合茂	みどり	白清85の3	鳥取県	鳥取県畜産試験場	37	112.973	0.995	70	23.389	0.994	12	1.968	0.994	968	-0.408	0.995	115	3.351	0.995	86	2.974	0.995	1493
原	6112	花之福	平	28	花国安福	なつ	福之国	北海道	榊十勝家畜人工授精所	75	98.526	0.937	33	26.826	0.935	22	1.907	0.925	1529	-0.232	0.94	50	3.838	0.941	90	2.965	0.942	38
原	5986	闊平照	平	26	美津照重	せきひら	勝忠平	鹿児島県	徳重 真生	427	59.249	0.986	137	20.707	0.986	720	0.85	0.983	250	-0.757	0.987	130	3.237	0.987	95	2.923	0.987	284
黒	15070	大平原	平	26	原平茂	ひみらいせい2	平茂晴	北海道	NLBC十勝牧場	109	91.029	0.899	184	19.284	0.896	129	1.487	0.881	918	-0.421	0.903	240	2.83	0.905	97	2.918	0.907	20
原	5553	若百合	平	22	百合茂	わかひめ6	安平	鹿児島県	衛上別府種畜場	99	93.18	0.994	30	27.008	0.994	383	1.111	0.993	1932	-0.091	0.994	132	3.211	0.994	102	2.893	0.994	1276
原	5976	貴華桜	平																									

4 優良系統の造成及び能力改善

特産肉用鶏及び特殊卵鶏の能力改善を図るため、統計育種学的手法に基づく改良を行った。主要保有系統の育種経過及び能力は次のとおりである。

(1) 横斑シャモ

特産地鶏「青森シャモロック」の雄系。

基礎鶏はシャモと横斑プリマスロックの交配種（昭和62年孵化）でシャモへ8世代戻し交配した。横斑紋（B）及び三枚冠（P）について遺伝子が固定されている。令和6年孵化鶏は、初産日齢171日、産卵率（180～300日齢）69.9%、体重（43週齢）雄：4,588g、雌：3,412gであった。

(2) 速羽性横斑プリマスロック

特産地鶏「青森シャモロック」の雌系。

基礎鶏は本県産横斑プリマスロックと白色プリマスロックの交配種（昭和62年孵化）。平成4年に速羽性（k）及び横斑紋（B）遺伝子についてホモ化達成。令和6年孵化鶏は初産日齢133日、産卵率（180～300日齢）81.2%、体重（43週齢）雄：4,809g、雌：3,865gであった。

(3) あすなろⅡ

基礎鶏は千葉県畜産試験場から平成5年に種卵導入したアローカナ雑種（白色レグホーン交雑）に褐色卵鶏を交配し、主に卵殻色を改良しながら維持している。令和6年孵化鶏は、初産日齢138日、産卵率（180～300日齢）81.1%、体重（43週齢）1,819g、卵重（36週齢）53.47g、卵黄重（36週齢）14.48g、卵黄卵重比（36週齢）27.12%であった。

(4) 卵黄重選抜系統

基礎系は県産白色レグホーン、昭和59年から卵黄重を大きくする選抜を実施。令和6年孵化鶏は初産日齢140日、産卵率（180～300日齢）76.0%、体重（42週齢）2,006g、卵重（37週齢）59.22g、卵黄重（37週齢）19.05g、卵黄卵重比（37週齢）32.18%であった。

5 実用ひなの配布

特産地鶏「青森シャモロック」及びその種鶏並びに地域特産鶏「あすなろ卵鶏」の素ひなを生産し、県内養鶏家等に配布した。

実用ひなの譲渡羽数（令和7年度）

（単位：羽）

	青森シャモロック	種 鶏	あすなろ卵鶏	計
配布羽数	12,140	1,022	3,322	16,484

(和牛改良技術部)

1 黒毛和種直接検定

県内の農家等で生産された雄子牛3頭、当部生産の雄子牛7頭並びに繁殖技術肉牛部が実施した受精卵移植による雄子牛5頭の計15頭について、6期に区分しそれぞれ112日間の検定を実施した。

飼養方法は、全国和牛登録協会の和牛産肉能力検定法に基づき、濃厚飼料（新和牛直接検定用配合飼料）を朝夕2回おおむね体重比1.0%～1.3%の範囲で給与、粗飼料（牧乾草）は飽食給与として単房方式で飼養した。その検定成績は、下記のとおりであった。

なお、選抜牛については、育成状況及び精液性状等を検討のうえ現場後代検定種雄牛として待機、あるいは、自然交配用種雄牛として県内の公共牧場等に貸し付ける予定である。

令和7年度黒毛和種産肉能力直接検定成績一覧表

期別	No.	名 号	生年月日	産 地	血 統				検定成績kg		選抜 及び 淘汰
					父	母	2代祖	3代祖	1日平均 増体量	365日齢 補正体重	
I	1	青茂幸	R6.9.4	和牛改良技術部	幸男	あおしげはる	平茂晴	平茂勝	1.12	449.2	淘汰
	2	寿久	R6.9.11	和牛改良技術部	寿優福	つばき	百合白清2	安福久	0.96	369.6	淘汰
	3	忠有梨	R6.10.11	繁殖技術肉牛部	忠光安	ゆりらいむ	百合白清2	安福久	1.56	451.8	保留
	4	金寿	R6.10.14	和牛改良技術部	寿優福	はるかねひら	金太郎3	平安平	1.01	421.4	保留
II	5	福花晴	R6.11.3	和牛改良技術部	福之姫	第4はなのはれ	第1花国	平茂晴	1.16	495.84	淘汰
	6	福福栄	R6.11.13	繁殖技術肉牛部	寿優福	ふくひさざくら	美国桜	百合茂	1.43	457.87	保留
	7	元幸国	R6.12.11	和牛改良技術部	幸男	もとはなくに	第1花国	第1花国	1.24	451.9	淘汰
	8	美津福	R6.12.13	東北町	福之鶴	みつと1008	美津照重	第1花国	1.14	428.5	保留
	9	桜輝	R6.12.15	繁殖技術肉牛部	美津照重	ふくひさざくら	美国桜	百合茂	1.43	440.6	淘汰
III	10	鶴影2	R7.1.31	三戸町(畜研)	福勝鶴	まさこ	優福栄	勝忠平	1.4	483.4	保留
IV	11	青糸勝	R7.3.17	和牛改良技術部	糸勝百合	あおゆりしげ	百合白清2	茂勝	0.93	443.1	淘汰
	12	北津義	R7.3.24	田子町	北美津久	ひさよし	義平福	安福久	1.08	425.6	淘汰
	13	若隼	R7.4.26	和牛改良技術部	若百合	はやぶさ	優福栄	第5隼福	1.01	431.5	淘汰
V		(対象牛無し)									
VI	14	桃寿	R7.8.24	横浜町	寿優福	ももん	美津忠	幸紀雄	検定中		
	15	桜優	R7.8.28	三戸町(畜研)	寿優福	ふくひさざくら	美国桜	百合茂	検定中		

※検定期間： I 期 令和7年5月13日～令和7年9月2日
 II 期 令和7年7月15日～令和7年11月4日
 III 期 令和7年8月26日～令和7年12月16日
 IV 期 令和7年11月12日～令和8年3月4日
 V 期 ※対象牛無し
 VI 期 令和7年3月31日～令和8年7月21日

IV 研究成果の公表・研修並びに普及指導活動

1 令和8年度「普及に移す研究成果・参考となる研究成果」とした事項

(1) 普及に移す研究成果

- ア オーチャードグラスの奨励品種「わせじまん（東北8号0G）」の特性
- イ 黒毛和種種雄牛「元忠百合（もとただゆり）」号の現場後代検定成績
- ウ 黒毛和種種雄牛「元国鵬（もとくにほう）」号の現場後代検定成績

(2) 参考となる研究成果

- ア 衛星インターネットサービス「スターリンク」による牛監視システムの有効性
- イ 子実用トウモロコシの鶏糞堆肥を利用した栽培技術
- ウ 黒毛和種肥育経営における飼料自動給餌機の導入効果

2 学会誌・研究会誌・研究報告への掲載

題名	発表者名等	公表誌巻号
ニワトリの攻撃性を規定する分子基盤の解明	山田洋平*、松田優樹*、倉地卓将*、都築政起**、渡邊治貴***、河合宏美、新村 毅* (*東京農工大・院農、**広島大・院統合生命、***三重県畜産研)	日本進化学会第27回大会講演要旨集
SNPデータを用いた青森県種雄牛の系統分類の検証	鎌田丈弘、佐藤萌子、佐藤 馨、竹田将悠規*、笹子奈々恵*、内山勝雄*、吉成加奈子*、阿部 剛*、渡邊敏夫** (*家畜改良セ、**家畜改良事業団)	東北畜産学会報 vol.74 (大会号)
SNPデータを用いた青森県繁殖雌牛の系統分類の検証	佐藤萌子、鎌田丈弘、佐藤 馨、竹田将悠規*、笹子奈々恵*、内山勝雄*、吉成加奈子*、阿部 剛*、渡邊敏夫** (*家畜改良セ、**家畜改良事業団)	東北畜産学会報 vol.74 (大会号)
青森県訓練群データを用いた脂肪酸組成および脂肪交雑形状のゲノミック評価	鎌田丈弘、佐藤萌子、佐藤 馨、竹田将悠規*、笹子奈々恵*、内山勝雄*、吉成加奈子**、阿部 剛*、口田圭吾*** (*家畜改良セ、**畜産技術協会、***帯広畜産大)	第62回肉用牛研究会大会要旨・肉用牛研究会報120号

稲わらの20MeV PIXE分析	村上海斗*、岩井慶造**、岩本ちひろ**、佐々木敏秋***、赤松笙太****、谷川法聖****、佐藤義人、遠藤実央子 (*弘前大・院理工、**東北大学先端量子ビーム科学研究センター、***岩手医科大・医歯薬総研、****八戸工業大・院工学、*****青森産技農総研)	International Journal of PIXE
鶏卵殻の20MeV PIXE分析-卵殻強度と元素構成比の調査	岩本ちひろ*、河合宏美、佐藤典子、赤松笙太**、村上海斗***、佐々木敏秋****、石井慶造* (*東北大・先端量子ビーム科研セ、**八戸工業大・院工学、***弘前大・院理工、****岩手医科大・医歯薬総合研)	International Journal of PIXE
素材鶏との交配があすなろ卵鶏母方種鶏の生産性および卵質に及ぼす影響	河合宏美、佐藤典子	東北農業研究 (tohoku Agric. Res) 78, 23-24 (2025)
寒冷地における荒廃草地への選択性除草剤散布およびペレニアルライグラス追播による植生および牧草収量への影響	木村中、河合紗織、遠藤実央子、中村良一、佐藤義人	日本草地学会誌 2025年度日本草地学会島根大会講演要旨集
新規青森シャモロック父方種鶏造成に向けた青森県在来シャモの経済形質評価	河合宏美、佐藤典子	日本家禽学会2026年度春季大会
ニワトリ始原生殖細胞の操作に使用するガラス針の紫外線による殺菌方法	佐藤典子、中島友紀*、神田亜樹奈*、田上貴寛* (*農研機構畜産研究部門)	日本家禽学会2026年度春季大会

3 試験研究成績発表会（県内対象）等

（１）令和７年度畜産研究所試験研究成績発表会及び普及に移す研究成果等検討会（オンライン開催）

ア 開催年月日：令和８年１月16日

イ 参 集 者：県農林水産政策課、県畜産課、各家畜保健衛生所、各農林水産事務所農業普及振興室、農林総合研究所

ウ 試験研究発表課題

- ① 子実用トウモロコシ(国産濃厚飼料)の安定多収生産技術の開発のうち堆肥主体肥培管理技術の開発（寒冷地・鶏ふん堆肥）

（木村主任研究員）

- ② 黒毛和種の現場後代検定成績

（佐藤萌子研究員）

- ③ 黒毛和種肥育牛における飼料自動給餌器を用いた飼養管理技術の開発

（佐藤萌子研究員）

- ④ 新たな手法によるゲノム育種価技術の開発

（鎌田主任研究員）

エ 普及に移す研究成果等検討課題

- ① オーチャードグラスの奨励品種「わせじまん（東北8号OG）」の特性（普及）

- ② 黒毛和種種雄牛「元忠百合」号の現場後代検定成績（普及）

- ③ 黒毛和種種雄牛「元国鵬」号の現場後代検定成績（普及）

- ④ 衛星通信技術スターリンクによる牛監視システムの有効性（参考）

- ⑤ 鶏糞堆肥を利用した子実用トウモロコシ栽培（参考）

- ⑥ 黒毛和種肥育経営における飼料自動給餌機の導入効果（参考）

4 マスメディアへの寄稿による情報発信

寄稿時期	発信先	発信内容	執筆者名
令和7年4月	農業共済新聞	青森県基幹種雄牛について	佐藤萌子
令和7年8月	農業共済新聞	家さんの疾病対策	岡本清虎
令和7年11月	農業共済新聞	ロボットトラクタの直線アシスト機能を利用した 飼料用トウモロコシのツインロー播種栽培技術こ ついて	木村中
令和7年12月	RAB「農事情報」	肉用牛のアニマルウェルフェアについて	佐藤馨
令和7年12月	RAB「農事情報」	正しい搾乳手順について	相坂依李
令和7年12月	RAB「農事情報」	黒毛和種の育種価評価について	小宮裕子
令和8年1月	RAB「農事情報」	青森県基幹種雄牛「第1久桜」の活用について	佐藤萌子
令和8年1月	農業共済新聞	畜産 ICT 技術普及に向けた衛星通信技術の活用こ ついて	佐藤馨
令和8年3月	RAB「農事情報」	サイレージ用トウモロコシの春作業について	木村中

5 刊 行 物

刊行物名	発行月	発行部数	配布先
2025年度試験調査設計書	令和7年5月	30	県畜産課、法人本部等
令和6年度畜産研究所年報	令和7年8月	99	県関係機関、市町村、都道府県 関係機関等

V 生産業務等の実績

(本 所)

1 繁殖技術肉牛部

(1) 供卵牛・受卵牛・試験牛・肥育牛の飼養頭数及び異動状況

(単位：頭)

品 種	区 分		前年 度末 頭数	受 入					払 出					本年度 末頭数
				生産	組入	購入	管理 換	計	売却	組替	斃死	管理 換	計	
黒毛 和種	種雄牛	雄	0					0					0	0
	成 牛	雌	43		5			5	6	4	1		11	37
	育成牛	雌	5		5			5		5			5	5
	子牛	雄	12	20		4		24	10	12	1	5	28	8
		雌	5	1				1		5			5	1
	肥育牛	去	14					0	12	2			14	0
		雌	4		4			4	4				4	4
	試験牛	去	2		14			14			1		1	15
		雌	0					0					0	0
小 計			85	21	28	4	0	53	32	28	3	5	68	70
日本短 角種	成 牛	雌	11		3			3	2				2	12
	育成牛	雌	3					0		3			3	0
	子 牛	雄	3	4				4	2	3			5	2
		雌	0	5				5					0	5
	検定牛	雄	1		3			3	1				1	3
		去	0					0					0	0
	小 計			18	9	6	0	0	15	5	6	0	0	11
F1	成 牛	雌	11					0					0	11
	育成牛	雌	0					0					0	0
	子牛	雌	0					0					0	0
	小 計		11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
合 計			114	30	34	4	0	68	37	34	3	5	79	103

成牛：2才以上 育成牛：1才～2才 子牛：1才未満

(2) 貸付種雄牛（日本短角種）

R8. 3. 31

	生年月日	登録 番号	父	母の父	配置先	初回貸付年度
華頼 331	R3. 3. 19	本1807	秋今 293	石深 2475	ゆうき青森農協	R5
和運	R4. 3. 14	本1822	国運	和禄 2139	田名部畜協	R6

2 中小家畜・シャモロック部

(1) 養鶏関係

ア 令和7年度 飼養実羽数

(単位：羽)

区分	雛				成鶏		計
	育雛		育成		卵用鶏	肉用鶏	
	卵用鶏	肉用鶏	卵用鶏	肉用鶏			
4月	282	109	174	276	811	1,224	2,876
5月	58	111	286	384	756	912	2,507
6月	0	0	222	328	884	1,202	2,636
7月	0	0	418	219	989	1,292	2,918
8月	0	251	308	0	817	1,424	2,800
9月	488	168	297	320	799	1,372	3,444
10月	0	0	97	427	853	1,020	2,397
11月	0	188	97	251	834	1,170	2,540
12月	0	0	94	354	834	1,400	2,682
1月	201	79	0	165	919	1,449	2,813
2月	148	184	201	79	812	1,148	2,572
3月	607	60	348	293	809	1,068	3,185

イ 令和7年度 飼養羽数年間移動状況

(単位：羽)

区分	期首 飼養羽数	受入 生産羽数	払出 棄却	売却	期末 飼養羽数
4月	2,983	1,395	243	1,259	2,876
5月	2,876	1,944	425	1,888	2,507
6月	2,507	1,476	97	1,250	2,636
7月	2,636	1,712	30	1,400	2,918
8月	2,918	1,685	357	1,430	2,800
9月	2,800	2,951	101	2,201	3,444
10月	3,444	450	702	795	2,397
11月	2,397	1,824	51	1,630	2,540
12月	2,540	1,121	29	950	2,682
1月	2,682	1,382	151	1,100	2,813
2月	2,813	1,464	575	1,130	2,572
3月	2,572	2,181	117	1,451	3,185

ウ 令和7年度 鶏卵年間移動状況

(単位：kg)

区分	繰越	生産量	払出					残量
			場用 種卵	販売卵	試験 供用卵	棄却卵	計	
4月	28.9	1,415.0	1,026.0	141.8	60.1	215.9	1,443.8	0.0
5月	0.0	1,591.9	913.2	191.5	16.7	391.3	1,512.7	79.1
6月	79.1	1,537.1	1,093.2	126.7	68.9	287.8	1,576.6	39.7
7月	39.7	1,664.8	1,215.6	114.7	80.0	251.6	1,661.9	42.5
8月	42.5	1,692.7	945.6	205.7	41.0	459.1	1,651.4	83.8
9月	83.8	1,834.2	986.4	359.8	74.6	458.8	1,879.6	38.5
10月	38.5	1,685.3	1,186.8	125.7	72.4	267.4	1,652.3	71.5
11月	71.5	1,557.3	1,040.4	181.0	76.8	165.5	1,463.8	165.0
12月	165.0	1,779.1	1,030.8	386.3	67.9	417.4	1,902.4	41.7
1月	41.7	1,805.2	1,236.0	127.8	52.9	306.8	1,723.4	123.4
2月	123.4	1,591.1	979.2	223.1	28.6	371.6	1,602.5	112.0
3月	112.0	1,677.1	1,243.2	184.6	54.5	258.9	1,741.2	47.9
計		19,830.7	12,896.4	2,368.7	694.4	3,852.1	19,811.7	

注) 端数処理のため、繰越、残量が合わない場合がある。

工 令和7年 孵化成績

(単位：羽、%)

区分	入卵数	無精 卵数	受精 卵数	受精率	孵化 羽数	孵化率	
						対 入卵	対 受精卵
1月	3,911	589	3,322	84.9	2,929	74.9	88.2
2月	4,519	1,102	3,417	75.6	2,954	65.4	86.5
3月	6,671	1,189	5,482	82.2	4,822	72.3	88.0
4月	4,749	936	3,813	80.3	3,157	66.5	82.8
5月	6,555	1,866	4,689	71.5	3,943	60.2	84.1
6月	3,804	1,086	2,718	71.5	2,247	59.1	82.7
7月	5,948	1,228	4,720	79.4	3,926	66.0	83.2
8月	4,521	1,051	3,470	76.8	2,733	60.5	78.8
9月	11,093	2,543	8,550	77.1	7,204	64.9	84.3
10月	1,150	316	834	72.5	697	60.6	83.6
11月	6,701	1,490	5,211	77.8	4,303	64.2	82.6
12月	3,957	1,063	2,894	73.1	2,378	60.1	82.2
計(平均)	5,298	1,205	4,093	76.9	3,441	64.5	83.9

3 酪農飼料環境部

(1) 乳用牛関係

ア 飼養頭数

(単位：頭)

区分		試験牛				
		成牛	育成牛	子牛		計
				雌	雄	
前年度末頭数		34	15	17 (0)	0 (0)	66 (0)
増	組 入 れ	15	16	0 (0)	0 (0)	31 (0)
	生 産	0	0	24 (9)	11 (9)	35 (18)
	購 入	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	管理換え	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)
減	組 替 え	0	15	16 (0)	0 (0)	31 (0)
	へ い 死	3	0	2 (1)	0 (0)	5 (1)
	売 却	6	0	8 (8)	9 (8)	23 (16)
	管理換え	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)
年間増減		6	1	-2 (0)	2 -(1)	7 -(1)
今年度末頭数		40	16	15 (0)	2 (1)	73 (1)

成牛：24か月齢以上、育成牛：12～24か月齢

() 内数字は交雑種頭数

イ 繁殖状況

(単位：頭)

区 分	分娩頭数	産子数		備 考
		雌	雄	
試 験 牛	34	24	12	F1 (雌： 9頭 雄： 10頭)
				ホル (雌： 15頭 雄： 2頭)

※死産1頭含む

※双子2組含む

ウ 生乳生産量及び処理状況 (R7. 4. 1～R8. 3. 31)

(単位：kg)

生乳生産量	前年度からの繰越量	出荷量	牛への哺乳量	その他	次年度への繰越量
278, 449	807	269, 194	10, 062	0	0

(2) 粗飼料生産関係

ア 圃場管理と飼料生産

(ア) 作業実施状況

作業内容及び作業実施期間		備 考
牧草栽培管理		
早春追肥	4/19 - 4/22	尿素、重過石、塩化加里
メタン発酵	4/25 - 4/27	早春追肥
消化液散布	11/4 - 11/12	刈取後追肥
牧草収穫調製		
1番草	5/27 - 6/26	65.6ha
2番草	7/5 - 8/28	65.6ha
3番草	9/4 - 10/25	41.3ha
トウモロコシ栽培管理		
堆肥散布・耕起	4/12 - 5/3	当年播種用5ha
砕土、整地	4/21 - 5/13	10ha
播種 極早生種	5/13-15	ゴールドデントKD421
早生種		スノーデント110(LG30500)
除草剤散布	5/16 - 5/17	アラクロール
	6/19	トルピラレート剤
堆肥散布・耕起	10/30 - 11/8	翌年播種用5ha
トウモロコシ 極早生種	9/9 - 9/21	5ha
収穫・調製 早生種	9/22 - 10/2	5ha

(イ) 粗飼料生産量

(乾物重、単位 : t)

調製法	牧草				トウモロコシ	合計
	1番草	2番草	3番草	計		
サイレージ	124	24	60	208	119	327
乾草	48	77		125		125
合計	172	101	60		119	452

(ウ) 農業機械一覧

機械名	数量	型式	取得年月日
トラクタ	1	MF390-4 76PS	H3.5.29
	1	MF399-4 98PS	H4.5.25
	1	MF365HA 66PS	H5.5.31
	1	クボタM135A 135PS	H24.7.23
	1	MF6713C 130PS	H31.2.27
	2	ヤンマーYT5113A YUQW5-R 115PS	R2.12.9
トラック	1	いすゞ4トントラック U-FRR32J	H3.5.24
	1	いすゞ4トン4WDトラック PB-FRS35H35	H17.9.8
	1	日野4トンドンプトラック	H13.3.7
タイヤドーザ	1	小松メックW001改	H4.10.5
	1	キャタピラー4DJ改	H5.10.27
モアコンディショナ	2	クーンFC250G型	H9.6.9 H19.6.27
ディスクモア	1	ヤンマーKY1600N	H26.2.25
テッダ	1	ロータススタビロ600 4連	H23.3.25
	1	STAR MGT6320 4連	R3.6.11
ジャイロレーキ	1	ポッテンガーTOP38N	H5.3.30
	1	クーンGA7301	H14.5.27
	1	FELLA TS801	H26.5.20
ロールベアラ	1	クラスローランド46型	H1.7.25
	1	クラススカッテングロールベアラR2550RCW	H17.7.25
	1	タカキタ細断型ロールベアラMR-1000R	H20.9.1
角形ビッグベアラ	1	クラススコードラント1150型	H10.2.27
ロールベールラッパ	1	タンコ1060ATP	H11.12.24
	1	タカキタWM1555R	H20.9.1
コーンプランタ	1	タカキタジェットシーダーJS4106 4条	H22.3.24
コーンハーベスタ	1	IHIフォーレイジハーベスタMFH4000RC	H30.9.11
テッピングワゴン	1	ハイダンプワゴンTHW7020	R2.11.19
サブソイラ	1	スガノ農機6S3	H24.2.10
ボトムブラウ	1	スガノRQY143CS リバーシブル3連	H19.12.20
ディスクハロ	1	スターMTH2810型	H8.5.1
ロータリハロ	1	ニプロロータリーLXR2410	H23.3.25
ブロードキャスタ	1	佐々木式BS400型	S61.11.7
	1	IHIスターMGC600WN	H28.3.18
マニユアスプレッダ	2	タカキタパワープッシュマニアPD7200 7m ³	H16.5.18
			H18.11.10
不耕起播種機	1	Aitchisonシードマチックグラスファーマー3018C	H28.7.29
ケンブリッジローラ	1	IHIスターTKR2520型 2.5m	H21.9.25
スラリータンカ	1	ユニバーサルスプレッダVB30	H3.3.29
ブームスプレーヤ	1	タカキタPREMIS800	H25.8.30

（３）土壌、飼料の分析調査業務関係

ア 土壌の受託分析

草地造成事業の事業実施主体である市町村、関係団体等からの依頼により、土壌分析を行い、土壌改良資材量を算定している。 また、土壌の無機成分についても受託分析を行っている。

令和７年度の分析依頼はなかった。

イ 飼料の受託分析

市町村、団体あるいは農家から依頼された飼料について、一般成分や無機成分等の受託分析を行っている。

令和７年度の分析依頼はなかった。

４ 家畜衛生

（１）肉用牛及び乳用牛

区 分	項 目	摘 要
検 査	結核、ブルセラ症、牛カンピロバクター症、トリコモナス症	肉用牛（種雄牛及び種雄候補牛） 家畜改良増殖法４条検査（毎年）
	ヨーネ病	肉用牛（１２か月齢以上の雌牛） 家畜伝染病予防法５条検査（隔年） 乳用牛（１２か月齢以上の雌牛） 家畜伝染病予防法５条検査（５年毎）
予防接種	クロストリジウム感染症	肉用牛、乳用牛（放牧対象牛）
	アカバネ病	肉用牛、乳用牛（繁殖雌牛、育成牛）
	IBR、BVD、PI-3、RS、AD-7、ヘモフィルス・ソムナス感染症	肉用牛（子牛）
	IBR、BVD、PI-3、RS、AD-7	乳用牛（妊娠牛）
	ロタウイルス、コロナウイルス、大腸菌	乳用牛（妊娠牛）

(2) 肉用鶏及び卵用鶏

ア 予防接種プログラム（種鶏及びコマーシャル鶏）

日 齢	ワクチン名
初生	マレック病生ワクチン
3	鶏コクシジウム感染症（アセルブリナ・テネラ・マキシマ）混合生ワクチン
8	鶏コクシジウム感染症（ネカトリックス）生ワクチン
12	鶏伝染性ファブリキウス嚢病生ワクチン
19	ニューカッスル病、鶏伝染性気管支炎混合生ワクチン
20	鶏痘生ワクチン
42	ニューカッスル病、鶏伝染性気管支炎混合生ワクチン
72	鶏脳脊髄炎生ワクチン
85	ニューカッスル病、鶏伝染性気管支炎（2価）、産卵低下症候群、鶏伝染性コリーザ（A・C型）、マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症混合（油性アジュバント加）不活化ワクチン
120	鶏痘生ワクチン

イ 種鶏検査（65日齢）

マイコプラズマ・ガリセプチカム及びマイコプラズマ・シノビエ（凝集反応）

（和牛改良技術部）

1 肉 用 牛

（１）種雄牛（黒毛和種）

名 号	生年月日	登録番号	血 統			産地	育種価(8年4月評価)		備 考
			父	母	2代祖		枝肉重量	脂肪交雑	
雪国	H4. 2. 10	黒12304	菊安土井	てるみ	安谷土井	兵庫県美方郡	-28. 97	1. 066	H16. 10月死亡
第1花国	H5. 5. 28	黒12510	北国7の8	あおはな	花桜	つがる市	82. 614	2. 174	H21. 4月死亡
福安	H2. 12. 10	黒12312	安福165の9	おちあい	紋次郎	十和田市	-0. 634	1. 49	H15. 10月死亡
照神1 2	H6. 3. 21	黒12548	谷福土井	みゆき	安美土井	兵庫県美方郡	-20. 57	1. 515	H18. 7月死亡
国栄9 7	H9. 10. 30	黒13122	北国7の8	えいこ	丸優	横浜町	20. 369	1. 652	H19. 6月死亡
第2花国	H14. 8. 18	黒13847	第1花国	第5はなくに	北国7の8	つがる市	31. 685	1. 925	R2. 3月死亡
優福栄	H18. 12. 17	黒14419	福栄	さわゆう	丸優	田子町	6. 897	2. 526	H25. 5月死亡
光茂	H19. 8. 15	黒原5163	平茂勝	かずふく	北国7の8	十和田市	76. 47	2. 336	R3. 4月淘汰
平安平	H21. 5. 22	黒原5383	安平	平茂勝	安福165の9	三戸町	28. 776	1. 961	R3. 4月淘汰
春待白清	H24. 11. 27	黒14989	白清85の3	はるか	安平	十和田市	-27. 081	2. 264	R6. 5月淘汰
広清	H25. 4. 2	黒原5907	白清85の3	なおみ 2	安平	十和田市	10. 552	2. 585	R7. 4月淘汰
忠光安	H27. 8. 10	黒原6073	勝忠平	みつやす	光平福	三戸町	67. 495	1. 87	
幸紀花	H28. 3. 22	黒15401	幸紀雄	もとくに	第1花国	横浜町	14. 138	2. 642	
寿優福	H28. 7. 4	黒原6167	優福栄	なな	第1花国	十和田市	31. 345	4. 011	
亀花邦	H30. 11. 14	黒15154	第1花国	みゆり	喜亀忠	六戸町	41. 264	2. 077	
第1久桜	H30. 10. 13	黒15568	安福久	もとくに	第1花国	横浜町	25. 924	3. 764	R8. 6月死亡
元忠百合	R1. 11. 24	黒15775	安亀忠	さゆり	百合茂	横浜町	80. 736	3. 284	
元国鵬	R2. 1. 6	黒15774	平白鵬	もとくに	第1花国	つがる市	36. 501	2. 968	
青森県基幹種雄牛 計 1 8 頭									

（２）貸付牛（黒毛和種）

名 号	生年月日	登録番号	血 統			産地	直接検定成績		配置先
			父	母	2代祖		1日平均増体重	365日齢補正体重	
百合優	H30. 8. 18	黒原6293	百合白清 2	かねゆう	優福栄	つがる市	1. 39	466. 4	田名部畜協
元国晴 4	R2. 3. 9	黒原6435	平茂晴	もとくに	第1花国	つがる市	1. 00	460. 0	田名部畜協
金太勝	R2. 7. 6	黒15861	金太郎 3	かつひさ	安福久	東北町	1. 53	445. 4	七戸畜協
鈴福久	R3. 12. 1	黒15994	安福久	すずいし 4 5	勝忠平	東北町	1. 31	414. 8	十和田おいらせ農協
諒百合	R4. 2. 8	黒原6616	諒太郎	さゆり	百合茂	横浜町	1. 15	449. 3	深浦畜協
真華晴	R4. 8. 8	黒16033	真華盛	あおしげはる	平茂晴	つがる市	1. 04	400. 8	七戸畜協
正勝早	R4. 12. 22	黒原6656	勝早桜 5	安福久	百合茂	七戸町	1. 12	437. 6	おいらせ農協
青茂福	R5. 9. 21	黒16172	寿優福	平茂晴	平茂勝	つがる市	0. 96	402. 9	おいらせ農協
貸付種雄牛 計 8 頭									

(3) 凍結精液の生産配布状況（黒毛和種）

名 号	生産本数	供給本数	備 考
第1花国	0	51	
第2花国	0	0	
光 茂	0	0	
平 安 平	0	0	
春待白清	0	0	
広 清	0	10	
忠 光 安	495	47	
幸 紀 花	0	0	
寿 優 福	5,230	1,268	
亀 花 邦	1,250	0	
第1久桜	12,055	403	
元忠百合	3,690	10	
元国鵬	2,345	26	

(4) 飼養頭数及び異動状況

区 分			R7. 3. 31	受 入					払 出					R8. 3. 31	
				生産	組入	購入	供用換	計	売払	組替	貸付・ 供用換	斃死	廃用		計
黒 毛 和 種	基幹種雄牛	♂	6		2			2					1	1	7
	後代検定済種雄牛	♂	0						0	0				0	0
	後代検定待機種雄牛	♂	12		3			3		2			1	3	12
	直接検定合格牛	♂	7		7			7	0	3	2		3	8	6
	直接検定牛	♂	5		7	3	5	15	0	18				18	2
	直接検定不合格牛	♂	0		11			11	8					8	3
	種 雌 牛	♀	44		8	1		9	8			3		11	42
	育 成 牛	♀	8		7			7		8				8	7
	子 牛	♂	10	19				19	4	11		1		16	13
		♀	13	10				10	4	15				19	4
	後代検定調査牛	去	19		4	1		5	10					10	14
		♀	13		8	2		10	6					6	17
計			137											127	

(5) 貸付頭数及び異動状況

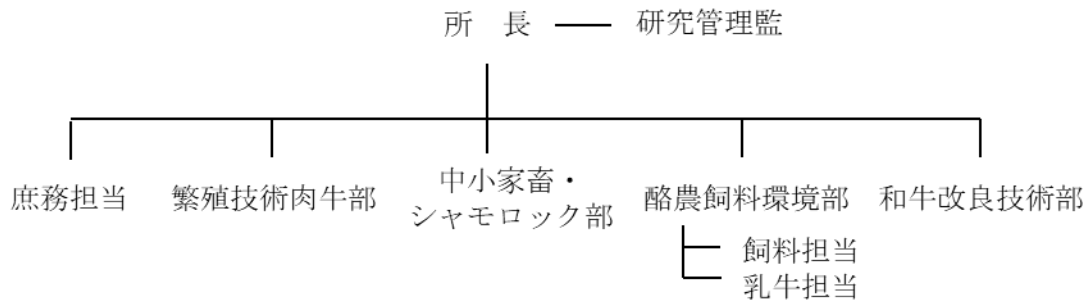
区分	区 分		R7. 3. 31	受 入					払 出					R8. 3. 31	
				生産	組入	購入	供用換	計	売払	組替	貸付等	斃死	廃用		計
黒毛和種	貸付牛	♂	7		2			2					1	1	8

2 家 畜 衛 生

区 分	項 目	摘 要
検 査	結核、ブルセラ症、 牛カンピロバクター症、トリコモナス症	肉用牛（種雄牛及び種雄候補牛） 家畜改良増殖法 4 条検査（毎年）
	ヨーネ病	肉用牛（12 か月齢以上の雌牛） 家畜伝染病予防法 5 条検査（隔年）
予防注射	クロストリジウム感染症	肉用牛（放牧対象牛）
	アカバネ病	肉用牛（繁殖雌牛・育成牛）
	IBR、BVD、PI-3、RS、AD-7	肉用牛（子牛、妊娠牛）
	ヘモフィルス・ソムナス感染症	肉用牛（子牛）
	ロタウイルス、コロナウイルス、大腸菌	肉用牛（妊娠牛）
駆 虫	内部寄生虫駆除（イベルメクチン製剤）	肉用牛（種畜、検定牛、繁殖雌牛）

VI 総務

1 組織・機構



2 分掌事務と職員の配置

(令和7年11月1日現在)

内部組織名	分掌事務	配置人員
庶務担当	1 予算の編成及び執行に関すること。 2 財務会計、庶務事務システムに関すること。 3 情報公開及び個人情報保護に関すること。 4 職員の服務、福利厚生、研修に関すること。 5 物品の検収、管理に関すること。	5 (所長、 研究管理 監を含 む)
繁殖技術 肉牛部	1 受精卵移植その他の家畜の繁殖技術の試験研究に関すること。 2 肉用牛の飼養管理技術の試験研究に関すること。 3 肉用牛(日本短角種)の能力検定と種雄牛の貸付に関すること。 4 凍結精液の受託製造に関すること。	15
中小家畜・ シャモ ロック部	1 鶏の育種及び改良の試験研究に関すること。 2 鶏の飼養管理技術の向上及び経営改善についての試験研究に関すること。 3 種鶏、種ひな及び種卵の配布に関すること。	10
酪農飼料 環境部	1 飼料作物の品種選定及び栽培改善技術の試験研究に関すること。 2 飼料作物の病虫害及び害草の試験研究に関すること。 3 草地の土壌改良及び飼料作物の施肥改善の試験研究に関すること。 4 草地管理機械の利用及び改善の試験研究に関すること。 5 飼料の調製、加工、貯蔵及び分析に関すること。 6 家畜排せつ物の処理・利用の試験研究に関すること。 7 乳用牛の飼養管理技術の試験研究に関すること。 8 乳用牛の牛群検定情報分析センターに関すること。	18
和牛改良 技術部	1 肉用牛の改良、繁殖、育成及び配布に関すること。 2 肉用牛の能力検定に関すること。 3 肉用牛の人工授精用精液の採取、保管及び分譲に関すること。	14

3 職 員 名 簿

(令和7年11月1日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
所 長	山 田 健 司	中小家畜・シヤモロック部		和牛改良技術部	
研 究 管 理 監	佐 藤 義 人	総括研究管理員(部長)	岡 本 清 虎	総括研究管理員(部長)	鈴 木 晶 夫
庶務担当		主任研究員(副部長)	河 合 宏 美	主任研究員(副部長)	鎌 田 丈 弘
総 括 主 幹	工 藤 達 哉	研 究 員	佐 藤 典 子	主 任 研 究 員	立 崎 泰 正
主 査	後 藤 恵 美 子	技 能 技 師	清 水 目 一 志	研 究 員	佐 藤 萌 子
主 事	築 田 佳 奈	技 能 技 師	横 濱 与 悦	主 査	加 川 裕 之
非常勤事務員	荒 谷 昌 子	技 能 技 師	沼 辺 智 憲	技 能 技 師	竹 田 憲 司
非常勤事務員	田 澤 莉 茄	技 能 技 師	角 谷 忠 一	技 能 技 師	原 田 貴 仁
非常勤労務員	竹 内 久 美 子	技 能 技 師	藤 谷 智 史	技 能 技 師	代 田 直 規
繁殖技術肉牛部		技 能 専 門 員	平 光 明	技 能 技 師	青 山 虎 氏
部 長	西 本 凡 子	技 能 専 門 員	小 泉 昭 彦	技 能 技 師	種 市 佳 太
主任研究員(副部長)	加 川 真 二 朗	非常勤技能員	竹 内 り つ 子	技 能 技 師	蝦 名 朔 弥
研 究 員	小 宮 裕 子	酪農飼料環境部		技 能 技 師	前 田 法 行
研 究 員	佐 藤 馨	部 長	中 村 良 一	技 能 技 師	白 岩 嵩 翔
研 究 員	百 武 幸 治	研究管理員(副部長)	遠 藤 実 央 子	技 能 専 門 員	荒 関 正
研 究 員	安 達 航	主 任 研 究 員	河 合 紗 織	非常勤事務員	秋 田 静 子
技 能 技 師	石 田 義 文	主 任 研 究 員	木 村 中		
技 能 技 師	三 橋 大 長	研 究 員	相 坂 依 李		
技 能 技 師	前 田 法 位	研 究 員	松 野 早 希 子		
技 能 技 師	野 中 寛 仁	技 能 技 師	山 田 徹 也		
技 能 技 師	北 村 幸 寿	技 能 技 師	竹 ヶ 原 誠		
技 能 技 師	工 藤 雅 大	技 能 技 師	村 山 穰		
技 能 技 師	伊 藤 旭 飛	技 能 技 師	大 沢 範 泰		
技 能 専 門 員	作 田 正 義	技 能 技 師	小 笠 原 慎 也		
技 能 専 門 員	下 山 純 一	技 能 専 門 員	江 刺 家 泰 彦		
		技 能 技 師	駒 ヶ 嶺 智 之		
		技 能 技 師	倉 岡 光 博		
		技 能 技 師	高 田 信 吾		
		技 能 技 師	古 谷 太 雅		
		技 能 技 師	須 藤 成		
		技 能 専 門 員	工 藤 房 夫		
		非常勤技能員	高 松 順 子		
		非常勤技能員	高 松 ユ カ		

4 人 事

(1) 職員配置状況

(令和7年11月1日現在)

職 名	庶務 担当	繁殖技術 肉牛部	中小家 畜・シヤモ ロック部	酪農飼料環境部			和牛改良 技術部	合計
				飼料	乳牛	計		
所 長	1							1
研 究 管 理 監	1							1
総括研究管理員			1				1	2
総 括 主 幹	1							1
部 長		1		1		1		2
研 究 管 理 員				1		1		1
主 任 研 究 員		1	1	2		2	2	6
主 査	1						1	2
研 究 員		4	1		2	2	1	8
主 事	1							1
研 究 専 門 員								0
技 能 技 師		7	5	5	5	10	8	30
技 能 専 門 員		2	2	1	1	2	1	7
非常勤事務員	2						1	3
非常勤技能員			1		2	2		3
非常勤労務員	1							1
合 計	8	15	11	10	10	20	15	69

(2) 異動

ア 令和7年度転入者

(ア) 転入者

新 所 属	職 名	氏 名	旧 所 属 ・ 職 名
畜産研究所	所 長	山 田 健 司	三八県民局農林水産部 次長
庶務担当	総括主幹	工 藤 達 哉	八戸工業研究所 総括主幹
酪農飼料環境部	部 長	中 村 良 一	西北県民局農林水産部 主幹
庶務担当	主 査	後 藤 恵 美 子	団体経営改善課 主査
和牛改良技術部	主 査	加 川 裕 之	弘前工業研究所 主査

(イ) 新採用者

新 所 属	職 名	氏 名	旧 所 属 ・ 職 名
繁殖技術肉牛部	研 究 員	百 武 幸 治	
繁殖技術肉牛部	研 究 員	安 達 航	(R7.11.1付け新採用)
繁殖技術肉牛部	技 能 技 師	伊 藤 旭 飛	
酪農飼料環境部	技 能 技 師	須 藤 成	

イ 令和7年度転出者
(ア) 転出者

所 属	職 名	氏 名	転 出 先 ・ 職 名
庶 務 担 当	総 括 主 幹	工 藤 達 哉	野菜研究所・総括主幹
和牛改良技術部	主任 研究員	立 崎 泰 正	西北農林水産事務所 主査
繁殖技術肉牛部	研 究 員	佐 藤 馨	上北農林水産事務所 主査
庶 務 担 当	主 事	築 田 佳 奈	本部事務局総務室 主事

(イ) 退職者

所 属	職 名	氏 名	転 出 先 ・ 職 名
繁殖技術肉牛部	研 究 員	小 宮 裕 子	
中小家畜・シャモロック部	研 究 員	佐 藤 典 子	
繁殖技術肉牛部	技能専門員	作 田 正 儀	
酪農飼料環境部	技能専門員	工 藤 房 夫	
酪農飼料環境部	技能専門員	江 差 家 泰 彦	

5 予算執行状況

(1) 歳入

(単位：千円)

科 目	予算額	契約額	収入済額	収入未済額	予算増減	備考
研究費交付金収入	6,258	6,258	6,258	0	0	
研究費交付金収入（畜産課）	6,258	6,258	6,258	0	0	
使用料及び手数料収入	1,467	1,076	1,076	0	391	歳入欠損額
依頼試験等事業収入	513	0	0	0	513	
土地等貸付収入	954	1,076	1,076	0	-122	
財 産 収 入	116,730	101,812	101,714	98	14,918	歳入欠損額
生産物売払収入	116,730	101,812	101,714	98	14,918	
諸 収 入		0	0	0	0	
雑入		0	0	0	0	
受 託 収 入	3,054	3,054	3,054	0	0	
受託研究費収入	2,804	2,804	2,804	0	0	
受託事業費収入	250	250	250	0	0	
施 設 費 収 入	193,882	166,554	193,882	0	27,328	
（繰越）畜産研究所施設整備事業費支出	193,882	166,554	193,882	0	27,328	事業額残
計	321,391	278,754	305,984	98	42,637	

(2) 歳出

(単位：千円)

科 目	予算額	支出額	残額	備考
法人管理運営費支出	8,266	8,235	31	
畜産研管理費支出	247,423	218,999	28,424	
繁殖技術肉牛部費支出	30,535	30,279	256	
中小家畜・シャモロック部費支出	17,586	17,586	0	
酪農飼料環境部費支出	48,900	48,900	0	
和牛改良技術部費支出	57,864	57,838	26	
研究費交付金事業費支出	6,269	6,269	0	
畜産研受託研究費支出	2,804	2,804	0	
計	419,647	390,910	28,737	

令和7年旬別気象表

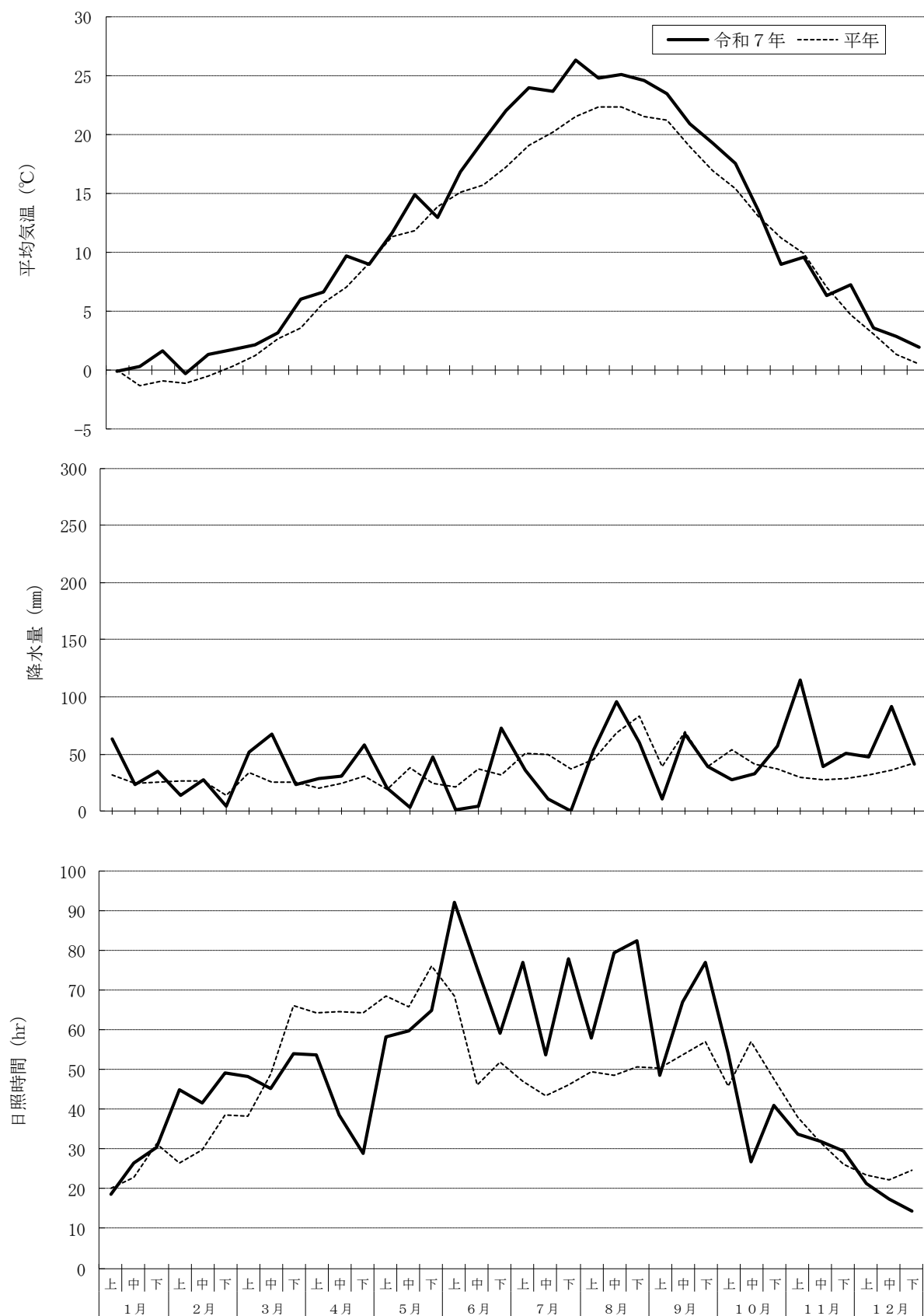
野辺地地域気象観測所※ 平年値：H20～R2年

月別	旬別	気温 (℃)						降水量 (合計mm)		日照時間 (合計 h r)	
		最高		最低		平均		本年	平年	本年	平年
		本年	平年	本年	平年	本年	平年				
1	上	2.4	2.1	-2.9	-2.4	-0.1	0.0	63.0	31.7	18.6	20.1
	中	3.9	1.0	-3.0	-4.1	0.4	-1.3	23.5	24.5	26.4	22.9
	下	4.7	1.7	-1.1	-4.0	1.6	-0.9	34.5	25.4	30.4	31.2
平均・計		3.6	1.6	-2.3	-3.5	0.6	-0.7	121.0	81.6	75.4	74.2
2	上	2.4	1.5	-3.4	-3.9	-0.3	-1.1	14.0	26.2	44.9	26.5
	中	4.3	2.2	-1.8	-3.4	1.3	-0.5	28.0	26.6	41.4	29.8
	下	4.9	3.4	-2.7	-3.2	1.8	0.3	4.5	13.6	49.0	38.6
平均・計		3.8	2.4	-2.6	-3.5	0.9	-0.4	46.5	66.4	135.3	94.9
3	上	5.0	4.5	-1.0	-1.9	2.2	1.3	51.5	33.4	48.2	38.3
	中	7.0	6.4	-0.3	-1.0	3.2	2.7	68.0	25.2	45.1	48.9
	下	10.2	7.6	1.9	-0.6	6.0	3.6	23.5	25.5	54.0	66.1
平均・計		7.4	6.2	0.2	-1.2	3.8	2.5	143.0	84.1	147.3	153.3
4	上	10.9	10.1	2.5	1.1	6.7	5.7	29.0	20.5	53.7	64.1
	中	13.5	11.5	7.0	2.6	9.8	7.1	30.5	24.6	38.6	64.4
	下	12.2	14.0	6.3	4.1	9.0	9.1	57.5	30.5	29.0	64.1
平均・計		12.2	11.9	5.3	2.6	8.5	7.3	117.0	75.6	121.3	192.6
5	上	16.7	16.2	7.2	6.6	11.7	11.4	20.5	19.1	58.3	68.4
	中	20.2	16.4	10.0	7.9	14.9	11.9	3.0	38.4	59.8	65.6
	下	17.6	18.6	8.4	9.8	13.0	13.9	48.0	24.9	64.8	76.0
平均・計		18.2	17.1	8.5	8.1	13.2	12.4	71.5	82.4	182.9	210.0
6	上	22.7	19.9	11.6	11.0	16.8	15.1	1.0	20.9	92.0	68.3
	中	24.2	19.6	16.3	12.7	19.5	15.7	4.5	37.2	75.4	46.0
	下	26.3	21.6	18.8	13.8	22.1	17.3	72.5	31.4	59.1	51.8
平均・計		24.4	20.4	15.6	12.5	19.5	16.0	78.0	89.5	226.5	166.1
7	上	28.3	23.0	20.5	16.1	24.0	19.1	35.5	50.5	76.8	47.0
	中	28.9	24.0	19.4	17.4	23.7	20.2	11.0	50.0	53.6	43.3
	下	30.8	25.4	22.2	18.8	26.4	21.6	0.0	36.5	77.7	46.0
平均・計		29.3	24.1	20.7	17.4	24.7	20.3	46.5	137.0	208.1	136.3
8	上	29.3	26.1	21.7	19.5	24.9	22.4	54.0	45.4	57.9	49.4
	中	30.2	26.1	20.1	19.4	25.2	22.4	96.0	68.2	79.3	48.5
	下	29.1	25.3	20.4	18.4	24.7	21.6	60.0	83.3	82.2	50.7
平均・計		29.6	25.8	20.7	19.1	24.9	22.1	210.0	196.9	219.4	148.6
9	上	27.7	25.0	19.6	17.8	23.5	21.2	10.5	39.4	48.6	50.2
	中	25.0	23.0	16.6	15.1	21.0	19.0	67.0	69.1	66.9	53.6
	下	24.0	21.1	15.0	12.7	19.3	17.0	39.5	39.5	76.8	56.9
平均・計		25.6	23.0	17.0	15.2	21.3	19.1	117.0	148.0	192.3	160.7
10	上	21.7	19.4	12.7	11.1	17.6	15.4	28.0	54.0	54.0	45.9
	中	17.2	17.3	9.3	8.2	13.6	13.1	33.0	41.7	26.6	56.9
	下	13.2	15.0	4.4	7.0	9.0	11.3	56.5	36.8	40.8	47.5
平均・計		17.4	17.2	8.8	8.8	13.4	13.3	117.5	132.5	121.4	150.3
11	上	13.7	13.6	5.2	6.0	9.6	9.9	115.0	29.6	33.8	37.9
	中	10.1	10.8	2.7	3.2	6.4	7.1	39.5	27.5	31.8	31.7
	下	11.1	8.0	3.0	1.3	7.3	4.7	50.5	28.7	29.5	26.1
平均・計		11.7	10.8	3.6	3.5	7.7	7.2	205.0	85.8	95.1	95.7
12	上	6.8	6.2	0.3	-0.2	3.6	3.1	47.5	31.7	21.2	23.4
	中	5.9	4.1	0.1	-1.4	2.9	1.4	91.5	36.3	17.5	22.1
	下	5.6	3.2	-1.3	-2.5	2.0	0.5	41.5	41.9	14.4	24.6
平均・計		6.1	4.5	-0.3	-1.4	2.8	1.7	180.5	109.9	53.1	70.1

年 次	根 雪 期 間	根雪日数
R6～R7	令和6年12月4日～7年4月8日	126日
平 年	12月6日～3月31日	116日
R5～R6	令和5年11月30日～6年3月29日	121日

令和 7 年 気 象 図

(青森県上北郡野辺地町)



令和7年度 畜産研究所年報

令和8年8月発行

編集・発行／地方独立行政法人 青森県産業技術センター畜産研究所

本 所

〒039-3156 青森県上北郡野辺地町字枇杷野51

TEL 0175-64-2231 FAX 0175-64-2230

和牛改良技術部

〒038-2816 青森県つがる市森田町森田月見野558

TEL 0173-26-3153 FAX 0173-26-3205